

井草会

会報

1996
No.29

発行者：井草会会報委員会 東京都立井草高等学校内（練馬区上石神井2-2-43）
発行：平成8年5月25日 郵便局為替：00120-4-0084359

好評！同窓会 今年も開催します。

昨年、久々に母校での同窓会を開催しましたが、大変ご好評を得ましたので今年も引き続き開催します。昨年参加された方はもちろん、残念ながら都合で参加できなかったあなたもぜひ久々の母校を訪れてみませんか。第一部は楠原新校長先生に講演をお願いしております。クラス会の同時開催も計画されてはいかがでしょうか。橋本内閣の科学技術庁長官、中川秀直さん（昭和37年E組卒業）も出席の予定です。



◆幹事総会にて、井草会の活動報告があります。同窓会の前にぜひご参加下さい。

井草祭参加のお知らせ！

例年通り今年も井草祭に井草会も参加します。
点茶、卒業生創作展など予定しています。
ぜひお立ち寄り下さい。

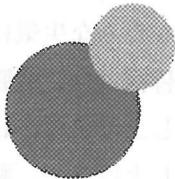
日 時：平成8年9月21日・22日
10:00～16:00
会 場：井草高校、教室未定のため当日
の案内をご覧下さい。

日 時：平成8年6月23日（日）
11時～幹事総会
13時～同窓会第一部
(楠原校長先生講演：
『今日の井草高校』)
14時～同窓会第二部 懇親会

場 所：井草高校視聴覚教室及び会議室

参加費：1,000円

(但し、平成7.8年卒業者は無料)



「同期会・OB/OG会援助金制度」 のお知らせ

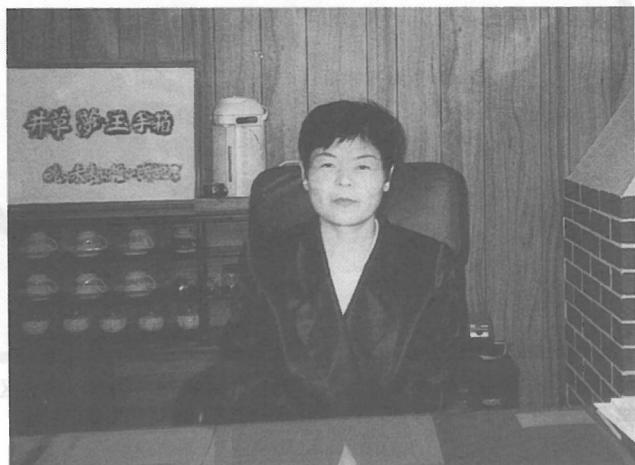
同期会・OB/OG会援助金交付案内

- 1、支出の対象 同期会又はOB/OG会の開催（クラス会は該当しません）
参加人数により援助金が異なります。
3万円（参加者25名以上50名未満）
5万円（参加者50名以上）
(1) 同期会OB/OG会援助金申請書
(2) 参加者名簿（住所電話）のコピー
(3) 参加者全員の写った写真
(4) 200字以内のコメント文
- 2、交付金額 上記の提出書類の確認後、指定口座に振り込みます。
- 3、提出書類
- 4、援助金の支払い

申し込み先： 202 東京都保谷市北町
2-15-3
森井 出
(尚電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。)



東京都立井草高等学校学校長 楠原絢子
井草会 名誉会長



のみな生気に溢れる季節となりました。同窓生の皆様にはご健勝にて各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃の母校へのご支援に心より感謝申し上げます。私は四月一日付で都立高島高校から本校に赴任して参りました。歴代の校長先生の優れたご業績を継承して、本校の更なる発展のために微力を尽くす所存でございます。今後ともよろしくご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、自己紹介を少々、私は群馬県高崎女子高等学校を卒業して東京の大学で学びました。出身高校は今年創立九十七年目で、井草と同じように非常に活発な同窓会があります。旧高女の卒業生たちが華やかに健在なところも井草とそっくりです。井草の皆様の愛校心と仲間意識の輪の中に入れていただいて勉強してゆきたいと思います。私は三年前の三月まで都立小平西高校で国語を教え、クラス担任をしていました。こうして校長室に座っていますと、授業

やHR活動に打ち込んだ日の充実感が身を浸してきて、何と言っても生徒の知的好奇心と努力、先生の情熱と創意工夫がかみ合って高みへ高みへと生徒が導かれてゆくことが教育のすべてであるだと実感します。生徒みんなが、「この学校で学べて本当に良かった」と思ってくれる内容のある学校作りが私の目標です。

社会の変化に対応する学校教育の変革が今緊急課題とされていますが、恐れず、慌てず理想に向かって歩を進めたいと思います。井草高校の将来像を求めて教育過程の検討や校舎改築にむけての取り組みも始めていますが、改築につきましてはいずれ同窓会の強力なご支援を賜わりたく、その節にはお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生のますますのご発展を祈念し、いつまでも母校への変わらぬ想いをお寄せくださいますようお願い致します。

●平成8年度・9年度井草会新役員●

会長：遠矢良隆（高校6回生A組）
副会長：広報担当／大西久江（高校5回生E組）
事業担当／森井出（高校17回生E組）
名簿・会費担当／新井雅晴（高校13回生D組）
会報担当／名方幸彦（高校22回生B組）
事務局担当／隆野豊子（高校1回生）
事務局：庶務担当／本部／隆野豊子（高校1回生）
本部／谷口知栄子（高校11回生F組）
事業／島田俊明（高校20回生A組）

※6月23日の幹事総会で承認された後、決定となります。

名簿・会費／杉浦忍生（高校6回生B組）
会報／簗利彦（高校15回生E組）
会計担当／本部／村上俊雄（高校25回生E組）
本部／岡安敏子（高校4回生F組）
事業／武居雄紀（高校46回生G組）
名簿・会費／金沢美保子（高校3回生B組）
会報／原田美幸（高校24回生D組）
監査役：西田実（高校17回生B組）
久米浩一（高校26回生D組）

平成8年卒
新幹事紹介

A組／美作洋一、多比良恭子 B組／川本学、牧野良子 C組／前野泰啓、手塚愛
鈴 D組／加藤直行、加藤佐智子 E組／下川原暢、田村晴子 F組／保高正明、
泉川理絵 G組／井本淳子、北條奈美、山田かすみ H組／中本一海、櫻村一生
ご活躍を期待します。

井草会活動報告

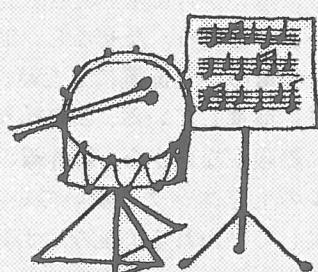
役員会・委員会

- 平成7年 5月 7日 第一回合同委員会：幹事総会、同窓会の具体的準備・役割分担、会報発送準備
 平成7年 5月26日 会報第27号発送
 平成7年 6月18日 幹事総会：新理事承認、活動報告、決算報告、新年度活動方針、予算審議、
 同窓会総会：今野井草高校長講演、懇談会
 平成7年 7月 2日 常任理事会：同窓会総会の反省と井草祭参加について討議
 平成7年 7月30日 第二回合同委員会：校舎改築についての報告、井草祭参加準備、会報28号発行について協議
 平成7年 9月 3日 第三回合同委員会：会報28号内容討議、井草祭参加展示品依頼
 平成7年 9月23・24日 井草祭参加：同窓生作品展示と点茶
 平成7年 10月 8日 会報28号編集会議
 平成7年 11月24日 会報28号発行
 平成7年 12月10日 第四回合同委員会：井草祭反省、慶弔金について討議、内規改正、来年度同窓会開催の是非
 について討議
 平成7年 12月17日 名簿・会費委員会：住所変更、調査
 平成8年 2月 4日 第五回合同委員会：新卒生へのプリント作成討議、役員改選について討議
 平成8年 2月25日 常任委員会：改選役員の候補者選びと一部規約改正について
 平成8年 3月 7日 名簿・会費委員会：住所変更、調査、
 会報委員会：29号企画会議
 平成8年 4月 7日 臨時合同委員会：新役員候補、予算・決算案作成、会則の一部改正について

井草会

平成7年度 決算報告 ・ 平成8年度 予算案

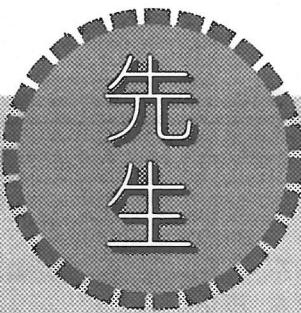
単位：円



平成8年4月1日現在財産目録

名簿積立金	2,000,000
(平成6~10年度分)	
事務所開設準備金	3,000,000
(平成6、7年度分)	

収入	7年度予算	7年度決算	8年度予算案
繰 越 金	4,206,651	4,206,651	3,365,980
入 会 金	1,407,643	1,407,643	1,340,000
会 費 及 び 寄 付	4,500,000	5,831,675	4,500,000
雑 収 入	50,000	101,838	50,000
計	10,164,294	11,547,807	9,255,980
支 出			
会 報 委 員 会 費	5,200,000	4,694,652	2,500,000
会 報 通 信 費	2,700,000	2,473,400	1,300,000
会 報 発 送 費	1,300,000	1,445,232	750,000
会 報 印 刷 費	1,000,000	764,260	350,000
委 員 会 活 動 費	200,000	11,760	100,000
名 簿・会 費 委 員 会 費	250,000	223,819	250,000
通 信・費	100,000	121,660	100,000
委 員 会 活 動 費	150,000	102,159	150,000
事 業 委 員 会 費	1,200,000	896,108	1,200,000
井 草 祭 参 加 費	200,000	84,568	200,000
同 窓 会 参 加 費	500,000	334,754	500,000
OB/OG会・同期会援助費	300,000	131,412	300,000
委 員 会 活 動 費	200,000	345,374	200,000
広 報 委 員 会 費			
委 員 会 活 動 費	—	—	100,000
事 務 担 当 費			
擔 当 活 動 費	—	—	100,000
理 事 会・委 員 会・幹 事 総 会 費	800,000	367,248	800,000
会 議 費	300,000	125,211	300,000
交 通 費	300,000	139,000	300,000
通 信 費	200,000	103,037	200,000
事 務 所 開 設 準 備 金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
予 備 費	714,294	—	2,305,980
次 年 度 繰 越	—	3,365,980	—
計	10,164,294	11,547,807	9,255,980



吉
祥
輝
輝
吉
草
会
報
お元気
ですか？

ありがとう

小坂明子
(英語科)



近況

ニオウ数学会
吉川正基
(数学科)

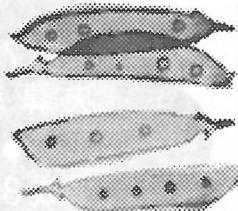


昭和55年4月から平成6年3月という長い年月を井草高校で過ごさせていただきました。先日、偶然に着任当時の二年生だった卒業生に出会い、お話しすることができました。彼女の同級生の名前が何人か出てきたのですが、ほとんどの顔がその場で思い浮かびました。もちろん私の心の中ではまだ高校生の姿のままですが。15年前の生徒でさえこうですから平成3年の3年Ⅰ組のメンバーなど明日学校に行けば教室にそろっているような気持ちになります。申し遅れましたが、井草在任中に、子供が2人生まれ、育児休暇などもあって、長い在任期間にしては、担任として卒業させたのは、なんとこのクラスだけでした。

私の出会った井草生に全般的に言えるのは、心にゆとりがあって、年齢のわりには大人の考えを持っている、ということです。そういう生徒たちにずい分助けられここまで来たのだと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。

一昨年の4月に現任校（三鷹高校）に移りました。ここは私の出身校でもあります。

そして井草高校も私の第二の出身校なのです。卒業生の皆様お元気でお過ごし下さい。



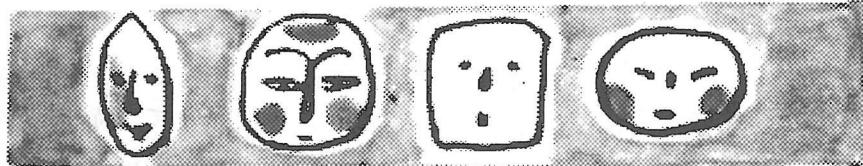
真偽のハッキリした論述を命題と言う。本命題「AならばB」に対し「BでないならばAでない」を対偶命題と呼ぶ。本命題と対偶命題とは真偽が一致する。例えば「二等辺三角形ならば底角が等しい」の対偶は「底角が等しくないから二等辺三角形でない」となる。

では「雨が降ると傘をさす」の対偶は「傘をささなければ雨が降らない」、また「先生が怒らないと生徒は宿題をやってこない」の対偶は「生徒が宿題をやってくると先生が怒る」となるのだろうか。生徒Sは、無限循環少數 $0.\dot{3}\dot{3}\dot{3}\dots$ が、限りなく $1/3$ に近づく

が、決して等しくはならないと主張する。また、有名な「ツエノンの逆理」でも、アキレスが亀を懸命に追いかけても、決して追い付かないと言う。なぜなら、アキレスが亀のいた位置にきた時、亀は既に前進している、この繰り返しに限界がないから。新幹線のレールの上をユックリ歩いていれば、決してひかれる心配ないわけだ。こんなことを、去年の8月、日本数学教育学会・東京大会で、若い方々に混じって口頭発表させて貰った。ここ十数年、『理解とは何か』について考え続けている。自宅では『ニオウ数学会』と称し「学習塾もどき」をやっている。

来年は70才になる。老人には「衰退モデル」と「自己実現モデル」があると聞いた。小生はどちらかと言うと、後者の方が好きな

のだが・・・。ご希望の方には口頭発表論文のコピー（添付資料共）差し上げます。ご連絡下さい。



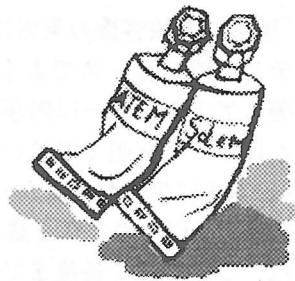
開校のころ

青山兵吉
(美術科)



昭和十六年、東京高等師範卒業の時、赴任校の件で教授に呼ばれた。鎌倉師範と東京の新設府立高等女学校、どちらを希望するかということだった。全国のどこになるかと心配していたので、一瞬懸かい思いがよぎった。即座に東京と答えた。それは、心から尊敬している絵画の先生が東京にお住まいだったからだ。勿論府立校に優秀な生徒が集中する時代でもあったし。当時府立校は大増設中で、仮校舎はあっても本校舎の建設地は未定という状態だった。わが校でも初代校長他三人の職員で土地探しに出かけた。今の井草高校のある所は一面麦畑で、背後が樺と杉の森で、駅にも近いので一同ここに賛成した。西武線の奥で、杉並・中野・練馬区からの通学に便利だった。翌年ここに本校舎が一棟出来、鷺宮の仮校舎から移った。新年度の応募生徒は一段とふ

え、教頭先生は嬉しそうに話された。成績のよい生徒が沢山いるよ。今迄の府立高女と遜色ないね、と。先生方も心から喜んだ。井草校創立から退職までの三十三年間をここで過ごせたのは、風景画を描く身にとっては又とない有難い所だった。麦畑の海に屋敷森が島の様に浮かび、その間から白い富士の姿が見えた。校舎の西の森の中に、大きな農家の茅葺き屋根が、広い庭の奥にしづもり返っていた。これに心ひかれて、毎年の日展にはここを描いて出品を続けたのだった。また、井草校あたりの風景を書きに行こう。



先生往来

着任	(前任校)
(校長) 楠原絢子	高島高校
(国語) 佐藤幸司	北高校
(社会) 松沢由美子	北園高校
(社会) 瀬川康兼	武蔵村山高校
(数学) 伊藤秀雄	武蔵丘高校
(音楽) 伊藤由紀	東大和南高校
尚、今野寛雄校長(前)は3月末をもって定年退職されました。	
大変お世話をになりました。	

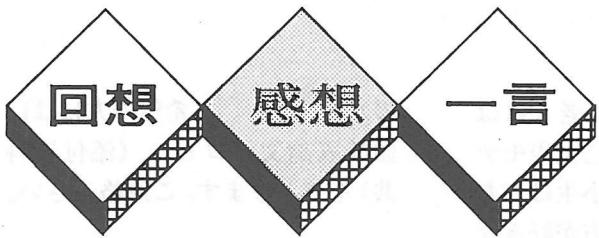
離任	(異動先)
(国語) 藤田隆	田園調布高校
(社会) 岩根謙一	立川高校
(社会) 永倉薰	雪谷高校
(音楽) 岡村繁	芸術高校
(理科) 都丸豊	小金井北高校
(数学) 鈴木政之	退職・東京女子大

敬称略

計報

平成7年6月	大畠起男先生 (数学)
平成7年11月12日	梅木清人先生 (理科)
平成8年3月11日	横田 昭先生 (英語)

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。



近況

井上和昭（高校20回 1963年卒業A組）

井草高校を卒業してはや30余年が経つ。級友たちも既に五十路を越えて、社会で、家庭で大切な役割を果たしているわけであるが、クラス会などで会えばタイ

ムトンネルを通って一気に懐かしいあのころにもどつて、時のたつのも忘れて話がはずむ。

私はといえば、井草卒業後大学に進学、その後教職に就いたので、いわば教卓を中心に180度回転して前半と後半が入れ代わってすごしたといえるであろうか・・・。そして、昨年3月、同級諸氏よりひとあし早く現役を退き、いまのところはとりあえずゆったりとした時の流れの中に身を置いて、趣味の折り紙の世界に没頭（ぼーっと）したり、また、酒道左千家家元（？）として、優雅（人に言わせれば怠惰）に、体重の増加を気にしながらすごしているところである。

モトム——国際化

平岩二郎（高校22回 1970年卒業B組）

「墜落した旅客機の乗客に日本人はいませんでした」テレビのニュースでよく聞くフレーズだ。次の瞬間、美人アナウンサーは何事もなかったように、はちきれんばかりの笑顔で隣にいるタレントと言葉を交す。「日本人に生まれてよかった」これも巷でよく耳にする会話だ。以上の文章を読んで何のこっちゃと思った方は、この駄文を最後まで読んで下さい。

パソコン、テレカ、コンビニ、ファミレス、携帯電話、ヘルス、ヘアヌード、Jリーグ、インターネット、わが母校を卒業した1970年ごろには想像もできなかつた（？）怪物が今世の中を徘徊している。

「国際化」——たぶん今世の中で言い古されている常套句のはず。ところがこの絶好の実践の場が街にでれば転がっているのに、寡聞にして高校生が外国人と交歓している場に出くわしたことがほとんどない。

一体、教育の現場では欧米人を除く外国人を招いたりすることがあるのだろうか。失礼ながら英語の先生たちの発音は、帰国子女たちのそれと比べて遜色はないのか。余談ながら、英語の発音ならフィリピーナが一番わかりやすいと思うのだが。

かく言う私の家庭は毎日が「国際化」の実験場、日系

ブラジル人の妻と、8歳の娘の会話はポルトガル語。付き合いの酒で午前様、という日本の“良き習慣”を理解してもらえるのは不可能。逆に私の仕事に理解してもらうほうが話が早いことが、経験で分かった。ところで何よりも日本人の限界を実感で思い知らされるのは、何だと思いますか？

旅行先のホテルで気に入らない部屋や、待遇を受けたとき、妻は毅然として文句を言い、自分の言い分を通してしまします。これは見事なものです。当り前の世界なのだ、そうだ。

皆さんはこんな大胆なことができますか？

そんな最愛の（唐突なセリフだが、お約束の言葉なので使わせていただきます）妻や、その友人たちが傷つき、頭にくるのが冒頭に紹介した二つのフレーズなのです。

インターネットの画面上でENGLISH至上主義にはまるのもいいけど、身近にいて、しかも確実に増えている在日外国人に親身をこめてアクセスするようになれば、無神経なフレーズを吐かなくてすむようになると思うのだが。せめて、「日本在住の方の乗客はいませんでした」「日本に生まれてよかった」くらいは言ってもらいたいもの。それが、わが夫婦円満にもつながるのです。

（株）光文社・週刊宝石編集部デスク



口は災いのもと

島田俊明（高校20回 1968年卒業A組）

三年前の秋の事である。結婚して母校井草高校のすぐそばに越して来て十年余、久方振りに井草祭をのぞきに母校の門をくぐった。

懐かしさと、ベランダに立つと目の前に校舎が見える、その近さの故に校門をくぐることをしなかった自分に対する自省の念の入り交じった複雑なきもちで…。校内を一巡、後輩たちの澆刺とした姿に二十数年前の自分の姿をダブらせながら、井草の良さを改めて噛み締めている自分が、とても可愛らしく思えてならない。本校舎の二階に歩みを進めると、同窓会の部屋があるではないか。卒業して十年目に一度だけ開いたクラス会、参加者十一名。小池先生はお元気か？などと、思い起こしながらドアの中へ。

残念ながら、同期生、同級生の顔は見当たらなかった。青山先生の絵の前で足が止まる。先生らしいタッチに先生の顔が浮かぶ。

大先輩のお点前で、お薄を一服。隣の机には同窓会名簿が。思わず手にとってページをめくる。懐かしい名前が並んでいる。聞けば販売しているとのこと、しかしである、給料日直前の我が財布の中身が心もとない。恥を忍んで打ち明けると振込みで良いとの事、振込用紙と名簿を確保、情けないといったらありやしない。

そこで新井会長（当時）と、遠矢副会長（当時）を紹介され、ご挨拶。種々懇談。帰り際にひとこと「井草

に一番近い所に住んでいる同窓会生だと思います。何かありましたら、お手伝いしますので、ご連絡下さい」半分は本気、半分は外交辞令であったのだが…。翌年の春、一通の葉書、「井草会幹事会開催のお知らせ」そして一本の電話「葉書つきましたか？そういう事なので是非、出席して下さい。ご予定は？OKですね、では」（ガチャ、ツーツーツー…）

この日が我が第二の、いつ卒業を迎えるか判らない、井草への入学？だったのである。

「口は災いのもと」と言うが、こうなってしまった以上「災い転じて福となす」以外にあるまいと、腹を括った次第である。

昨年の、同窓会総会。そして井草祭。自分にできる事は何でも、との思いで（うそ～）やらせてもらったつもりである。諸先輩の方がたとも心の交流を深めることができたかなと思う。数少ない後輩の幹事達もいいやつばかりである。

更に今年は常任理事などという事になってしまった。こうなればもうヤケクソである「大悪起これば、大善来たる」と開き直るしかあるまい。

「なにもくどくど言わなくても理解しあえる友の存在は、めったにあるものではない。現代の人間疎外の風潮がもたらす人間の孤独地獄は、このような友情をもたない人々に顕著に現われている」又「良き『出会い』を重ねていく人こそ、最高の人生の輝きを獲得できる幸福者である」

これは、尊敬するある哲人の言葉である。一介の薄給サラリーマンの自分だが、母校の井草会という、『良き出会い』を重ねていける場を得た事。これこそ人生の財産であると決め、友の輪を幾重にも広げてゆく手伝いを自分なりに、微力ではあるが、させていただくつもりである。いやはや、なんとも…。

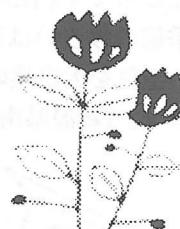
同窓会・クラス会

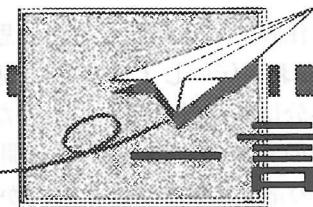
硬式野球部OB会は一期、二期生の「還暦祝」をかねて、1995年、8月25日（金）に東京ドーム球場で開催しました。当日はプロ野球（日本ハム・西武）終了後の午後10時半開始にもかかわらず、OBとその家族を含め100名を越す参加となりました。還暦を迎えたOBは赤のユニホームを着て還

暦チームとして出場、40才チームと軟式試合を楽しみ、その後還暦チームは40才以下のOBと交替、家族も出場するなど東京ドームの一日を楽しみました。

井草高校硬式野球部OB会事務局

月岡健一（昭和40年3月卒、17回生G組）





一言通信

会費振込み用紙の「一言通信欄」より抜粋
今回、皆様のご希望に応じて卒業年も付けました。

■大沢（石坂）貞子

（昭和22年3月卒、

高女3回生1組）

私には井草時代が微妙に屈折した思い出がさきになってしまします。動員で兵器工場へかりだされたこと、都立の女子校で深夜作業（昼夜2交代）をしていたのは、井草ともうひとつの二校だけだったとか、（私は旋盤で航空機の部品をつくりました）上級生と二人で校長を訪ね、作業がきついことを話にいって追い返されました。そして終戦と戦後50年たっても思い出は苦味の多いものです。そんなものをふっきて、同窓の皆様といま生きていることの幸せと現在の世相を考えていけばよいのですね。

■解良（村山）佳枝

（昭和28年3月卒、

高校5回生B組）

昨年の同窓会に参加し、卒業以来といつてもいい位の学校訪問でなつかしく井草のあたりの変わった様子など、そして、みなさまとなつかしい会合、本当にお世話になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

■上村（野本）玲子

（昭和33年3月卒、

高校10回生B組）

昨年8月、夫のふるさとにUターン致しました。日本一の米どころ酒どころです。江戸っ子の私にとり季節の移ろいは素晴らしい、おいしい空気を大自然の中で満喫しています。（新潟県南魚沼郡在住）

■小島真樹

（昭和36年3月卒、

高校13回生A組）

『THE・英作文』という英語の入門書を書きました。外国語の習得は、標準例文を暗記してそれを応用させるに尽きます。それでは一体、どの例文を幾つくらい覚えたらしいのか。この問い合わせに対して私は文法の基本項目を99個含んだ例文を示しこの本で解説しています。是非ご一読下さい。

■片田江（熊谷）芙美子

（昭和40年3月卒、

高校17回生F組）

放送委員会で一緒に仕事をした方々の事、なつかしく思い出します。おたより下さい。

■新藤（小森）玲子

（昭和41年3月卒、

高校18回生C組）

会報をお送り下さいましてありがとうございます。時折紙面に旧友の名前を見つけては懐かしく思っています。

■田中真理子

（昭和45年3月卒、

高校22回生E組）

No27のOGインタビューに同期で女優になった二宮さんが出ていました。在学中よりもきれいになって、夢をもって活躍している様子、心から声援を送りたいし、私もやる気がわいてきました。No.28では教頭先生の「中学生の高校訪問」を読んで、井草の自由な校風が今も変わっていないのが嬉しい。学校群で井草に行けて、本当によかったです。

■篠崎（田中）真理

（昭和45年3月卒、

高校22回生G組）

昨年の9月24日に「被爆・終戦50年—子ども達に核兵器のない地球を—」をテーマにしたコンサートをしましたが、今年もやります。9月14日（土）ルネコだいら大ホールで、「いのちと平和」の大切さを音楽と通じて広めていこうという主旨でやります。「サウンドオブミュージッカー大人と子供で歌える合唱ー」をメインに。お近くの方ぜひ聞きに来て下さい。

■大野（坂田）悦子

（昭和48年3月卒、

高校25回生C組）

No28会報なつかしく読ませていただきました。昨年の井草祭にも行かれなかったけれど1Aで劇をやり、メイクを担当し”ドーラン”を求めて石神井公園駅周辺を歩きまわったことをなつかしく思いました。無気力なんてさみしい、ガンバレ！！

■河野秀之

（昭和48年3月卒、

高校25回生F組）

地元に戻ってきました。井草高校ハンドボール部OBチームでまだ（どうにか？）現役でやっております。

■押山（小関）直美

（昭和50年3月卒、

高校27回生B組）

東京を離れて12年、どこもかしこも変わってしまったようで、一度井草のあたりも子供を連れて見に行ってみたいと思いながら年月を重ねています。



■加藤康正

(昭和 56 年 3 月卒、

高校3年生C組)

大学進学だけが全てではないと思いますが、自分の卒業した大学の名前が進路先からついになくなつたのは寂しい限りです。私のクラスでは4名いたのに・・・。自由と自立はすなわち自律という事を在校生に意識してもらいたいものです。

■出崎(三浦)真理

(昭和 61 年 3 月卒)

高校38回生G組)

子育て（男子の双子3才）、仕事、サークル活動・・・。と慌ただしい毎日ですけれどもそれなりに楽しんでいます。青森の生活にもすっかり慣れました。

井上織絵

(平成5年3月卒、

高校4・5回生D組)

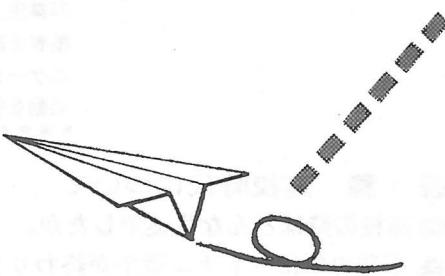
そういえば車の免許を得てはじめて行ったところは井草高校でした。あれからもう半年くらい過ぎて運転にもだいぶ慣れたけど未だに坂道発進が大の苦手で後の車をヒヤヒヤさせています。今度はがんばって働いて自分の車を買ってから井草高校まで行きたいです。

■ 泉川理絵

(平成8年3月卒)

高校48回生F組)

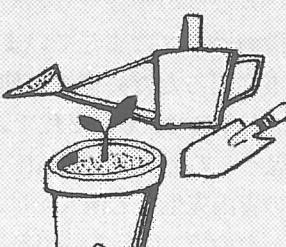
何気なく過ごしてしまった3年間でした。まだ卒業したてで将来のことはわかりませんが、英語が好きなので役立てたいと思っています。井草会の皆さんのがんばってください。

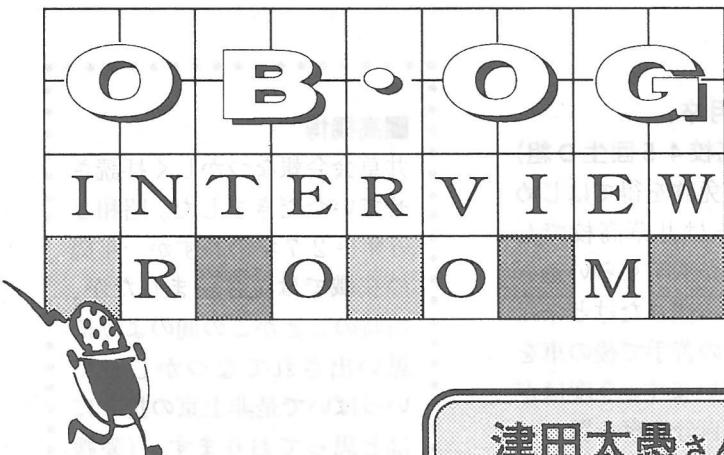


◆ 平成 7 年度進路状況（推薦入学・野卒者を含む）

●国公立大学

私立大学





津田太愚さん



本名:津田誠治郎／1975年卒業27回生／東京都出身／お母さんも高女3回生で親子2代の井草卒業生／上智大学文学部哲学科／ドイツ哲学専攻／光文社入社後「女性自身」、「コミックVAL」編集者を経てフリー／現在の肩書きは、漫画評論家、エッセイスト、お笑いタレントの他、パワーコミュニケーション研究所を主催、専門家としてストレス解消のための自己トランク法を生み、実践・講演活動を行う／著書多数

■ 1 ■ 高校時代について

Q 高校の時はどんな生徒でしたか。

A 卒業の年にベトナム戦争が終わりましたが、大きなインパクトでした。中学時代から、当時の左翼思想にかぶっていて、ベトナム戦争そのものが、大きな壁として立ち塞がっていました。それが崩れたのはちょうど89年、ドイツの壁が崩壊して冷戦構造が終わったと同じ様な時代背景の時でした。私はそのようななかで、精神世界や哲学・宗教に興味をもっていました。ちょうどそのころ「燃えよドラゴン」がはやっていて、ブルースリーのカンフーなどの裏にある中国の「老荘思想」や「易・経」などに憧れています。肉体礼賛のカンフーそのものではなく、カンフーを生んだスピリチュアルなものに興味を持ちました。当時、井草の図書館の本を読みあさりました。

Q 高校時代に印象に残ったことは。

A 井草はやりたい勉強のできる学校でした。3年の時、倫社などでは、もっぱら「共産党宣言」を輪読していました。そんな自由な雰囲気がありました。制服はなかったし、オートバイもOKでしたが、ゲタはだめだったのを良く覚えています。時代的には、高校紛争が終わった後の空白の『シラケ世代』にあたります。学生運動がなくなり、物理的な行動よりもスピリチュアルなものがはやり始めた頃でした。クラブは3年間漫画クラブに属していました。今から思えば、『教育が不在だったため個性が伸びた』のではないでしょうか。井草には、親子2代でお世話になりましたが、今から思うと先生が一番思い出として印象に残っています。美術の青山先生など何人かは、母親も私も同じ先生に習いましたので、ひとときは印象深く覚えています。その意味では、愛校精神とは先生であると思っています。

■ 2 ■ 現在について

Q 高校時代と現在の仕事との関係はあるのですか。

A 特に意識したことはありませんが、漫画の世界や業界の人には、井草の出身者が多いようです。それも最初は知らずに付き合っていたのですが、ひょんなことで出身高校を聞いたら井草だと判った経験が何回かあります。

Q 多彩な肩書きをお持ちですが、どのように使い分けているのですか。

A 収入面では、漫画の原作やエッセイが中心ですが、気持ちの上では何の区別もありません。私は世の中に浮遊して生きているので、高校時代の感覚をそのまま持ち続けていると思います。今、書いているのは(1)漫画の原作、(2)エッセイ、(3)ショートショート、(4)漫画批評などが中心です。

Q 生活のリズムは。

A 私は比較的喫茶店で仕事をする場合が多いですが、サラリーマンのように、8時頃から仕事に向かい、夕方終えるので夜更かししないで休めます。ただ一般の人と違い、土曜とウイークデーの区別はありませんので、土日も働くことが多いです。リズムという面では、編集者時代はメチャクチャでした。

Q 漫画の世界は今どうなっているのですか。

A 漫画はコミュニケーションツールの一つに過ぎません。TVの発達と同時に新しいメディアとして登場してきました。特に60年代の週刊サンデー、マガジンを契機として100万部も売れる巨大なマス媒体となりました。それ以前の漫画とはコミュニケーションの形態が違っていたのです。私は、手塚治虫の死とともにそのような大量生産・大量消費の漫画の時代は終わったと考えています。

■ 3 ■ 今後について

Q これからの漫画はどのようにになってゆくのでしょうか。

A コミュニケーションツールとしての漫画は、今後『自己陶酔・自己完遂』の方向に進んでゆくと思います。敢ていうと、これからはコミュニケーションがいらない時代になるのです。好きな人が自分で見つけて来た漫画を見ていると、それを隣で見ていた人がおもしろそうだと感じて私にも見せてくれという形、これがコミュニケーションの型になるので、漫画を見ている人がおもしろいと言いふらさなくても自然に広がっていく形になってゆくと思います。その意味では、ひとつことに秀でた『匠』や『達人』の時代になってゆきます。これは漫画だけにとどまらず、世の中全体の風潮になるはずです。

Q もう少し説明して下さい。

A 今まででは、生産者側が消費者の動向をいかに見てそれに合わせた製品を作れるかというのが80年代の主流でした。いわゆるマーケットインですが、これからは、反対に、生産者が『自己陶酔』により作り上げた製品に消費者が飛びつくという、今までとは全く逆の形が出てきます。消費者の欲望を生産者がつかむのではなく、生産者の欲望を消費者が搜すのです。ですから、大きなパラダイムシフトが行われると予測しています。これこそが、大量生産・大量消費が終わった高度成長後の新しい市場構造であると思います。

Q オウム事件など高学歴の若者が精神的なものに引かれているのも関係あるのでしょうか。

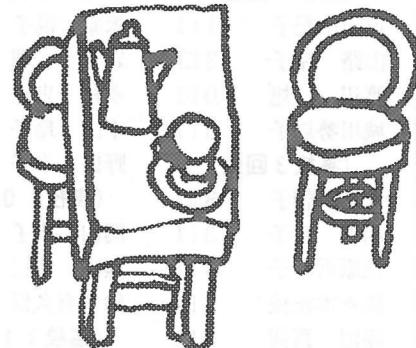
A 現代は人類そのものが甘えられるものを探している時代なのです。宗教的なものや自然への回帰、ワー

ルドカップのような全世界的なスポーツなどなるべく大きな入れ物に世界の人が入ることにより甘えていたいのです。昔は、女性なら結婚すれば亭主が甘えさせてくれましたが、その亭主もたとえ大企業であってもポストからはずされば、早期退職や年俸制などでもう甘えさせてくれません。こんな状況のなかで、たまたまオウムが出てきたのです。巨人のファンクラブや浦和レッズのファンなら害はありませんが、たまたま悪い指導者のいるクラブがオウムだったのです。そのようなクラブでは個人の判断より集団の判断を優先しますので、指導者が悪いととんでもないことになってしまいます。価値観の崩壊が時代の変換と共に起こっているゆえ、多くの人は甘えたがっているのです。

■ 4 ■ 最後に後輩へのアドバイスを

A 私の経験からいえることは、「高校時代を楽しんだ方が良い」ことです。ただそのためには、勉強しなくてはなりません。高校生活を楽しむための必要条件は、高校の勉強をすることだと思います。受験勉強も将来役に立たないかもしれません、高校生活を楽しく過ごすためにもやったほうが良いと思います。

(文責：編集担当・名方)



住所不明者

次の方の住所が不明です。ご存知の方は、井草会までご連絡下さい。
(敬称略。 () 内は旧姓) * 住所変更をされた方は必ず井草会にご連絡下さい。

高校29回生(昭和52年3月卒業)

A組 (担任: 柳田学先生)

青木浩、石川賢一、今井正弘、尾坂晃、川崎絵太夫、菅沼正彦、関口政男、鳥沢伸一、永松祐嗣、平川和朗、増田達朗、安永真一、吉村清一郎、吉羽治、斎藤仁美、中井(杉本)幸子、江島(鈴木)桂子、中林(西中)厚子、彦坂葉子、福島暁子、福島純子、勉(藤本)良子、山田晶子、田口(山田)智美

B組 (担任: 村野英克先生)

猪俣浩二、岡田直人、高橋秀夫、名取輝夫、難波伸一、山岸正文、安部文恵、大坪明子、児玉春美、都築(小霧)京子、内藤桂子、橋本ゆき、熊渕(由良)和子、押田(渡辺)順子

C組 (担任: 坂本美津子先生)

大河内孝、金塚堂、栗田博、後藤晶彦、高木敏、只隈光人、東ひとみ、上原(上原)絵里子、深井(鈴木)敬子、佐藤(宮部)郷子、

D組 (担任: 鶴田亘先生)

佐藤元、杉野伊佐男、鈴木伸也、田中啓一、松永雅博、遠藤(伊藤)恵子、大内(鈴木)千恵子、木下(平山)順子、硯谷敏子、小西(森)いづみ

E組 (担任: 古屋尚子先生)

伊藤裕朗、大内勝司、加藤正行、高石尚紀、中村隆、春山剛、間瀬充、間瀬(小野部)敬子、佐藤優子、藤川(鈴木)敦子、古賀(高橋)敦子

F組 (担任: 浜田慎亮先生)

岡本研一郎、高橋隆二、田中勝彦、石破

登志子

G組 (担任: 茅根正之先生)

岩本秀造、川村均、清水陽一、中山和行、丸谷和明、伊崎(相場)雅子、鈴木(河村)英子、佐藤尚子、宝樹ゆり、西尾(友永)安子

H組 (担任: 桑幡昌典先生)

岡田幸三、鈴木幹夫、田口一哉、平井孝明、柿木(相原)真奈美

I組 (担任: 山田稔先生)

飯澤隆治、伊藤雅道、小野寺章、高橋修、高橋徹、田代岳、平井孝之、宮崎(松本)龍彦、井樋(青木)まり、浅見貞江、高橋(木村)晴海、檜垣(小町谷)公子、永田雅子、飯澤(益子)裕子、平野(松下)雅子、渥見(松下)理香、山田(渡辺)真理子

寄付者名簿

(平成 8 年 3 月 31 日現在)

次の方々より井草会へご寄付をいただきました。ありがとうございます。

尚、敬称は略させていただきます。(一口: 1000 円)

(高女 1 回生)	(高校 6 回生)	三溝 郁子	1 口	(高校 20 回生)	阿部 恵	1 口
堤 恭子 3 口	早船 聖生 3 口	山崎三千代 1 口	村田 直樹 3 口	川部 崇 3 口		
渡辺 恭子 8 口	前波 進 8 口	板津 直士 2 口	渡辺 一雄 3 口	(高校 32 回生)		
末永 京子 10 口	寺沢美智代 1 口	中林 保彦 3 口	田中 英明 3 口	小野由美子 3 口		
鈴木 道子 8 口	石元さよ子 2 口	細谷 春来 3 口	(高校 21 回生)	(高校 33 回生)		
田中 和子 3 口	坂野 元子 3 口	八百 洋子 1 口	野々下美和 1 口	平谷 洋子 1 口		
(高女 2 回生)	石川喜美子 3 口	工藤登代子 10 口	(高校 22 回生)	清水 弘道 3 口		
真弓 瑞恵 1 口	(高校 7 回生)	(高校 13 回生)	黒沢 俊二 8 口	(高校 34 回生)		
泉 寿ぎ 3 口	網野 滋 8 口	大津 輝雄 8 口	名方 幸彦 8 口	波田野真由美 1 口		
三品 文子 3 口	伊阪美枝子 3 口	(高校 14 回生)	二宮美恵子 3 口	高野 郁人 1 口		
大泉 和枝 8 口	渋谷 實 3 口	早川 孝也 1 口	正村 嘉彦 2 口	(高校 35 回生)		
(高女 3 回生)	国友 栄 3 口	杉浦 則子 2 口	近藤小百合 1 口	福沢 光一 3 口		
豊田美恵子 3 口	繩 芳子 3 口	松本 洋子 3 口	平田 英二 2 口	(高校 36 回生)		
工藤 節子 3 口	渡辺きさ子 3 口	斎藤 靖子 2 口	(高校 23 回生)	新倉 敦子 1 口		
(高女 4 回生)	梶 正彦 3 口	永島佳代子 1 口	田中 隆枝 3 口	(高校 37 回生)		
八木 鈴子 3 口	(高校 8 回生)	高橋 郁子 1 口	池田 幸子 3 口	増尾 裕子 1 口		
大柴 節子 3 口	増淵ひろ子 1 口	原 京 3 口	原島 幸子 3 口	西沢 美花 1 口		
阿部 妙子 10 口	瀬尾 行弘 3 口	(高校 15 回生)	今井 佳子 3 口	(高校 39 回生)		
登坂美佐子 3 口	(高校 9 回生)	田中 希史 3 口	山田 博子 3 口	上野亨 1 口		
(高校 2 回生)	杉浦 章子 3 口	今井千恵子 3 口	(高校 24 回生)	飯田 彩人 3 口		
遠山由紀子 1 口	米原 悅子 8 口	川添 洋子 3 口	井上 晴夫 2 口	上野 智子 1 口		
山路 玲子 3 口	岩下 理 8 口	小野 節子 3 口	(高校 25 回生)	平林 大 3 口		
渡辺 旭 10 口	木村 忠正 8 口	(高校 16 回生)	山田 雅雄 1 口	(高校 41 回生)		
城川勢以子 3 口	中山 玲子 8 口	清水美佐子 8 口	(高校 26 回生)	匿 名 8 口		
(高校 3 回生)	野口 享子 3 口	(高校 17 回生)	田辺 司 3 口	(高校 42 回生)		
大友 朝子 3 口	(高校 10 回生)	東口 治洋 1 口	杉野 俊哉 1 口	中島 輝子 1 口		
相沢 智子 3 口	関口 素子 1 口	滝沢 政代 3 口	渡辺 高登 3 口	(高校 44 回生)		
三原百合子 3 口	熊田 隼三 1 口	吉越美津子 1 口	三上 祥子 3 口	宇田川和男 3 口		
佐々木正枝 3 口	鈴木喜久信 3 口	内田美佐子 3 口	佐久間利彦 3 口	(高校 45 回生)		
藤田 菖蒲 8 口	(高校 11 回生)	中井 直子 3 口	(高校 27 回生)	水沼 利也 1 口		
(高校 4 回生)	白水 敏夫 8 口	(高校 18 回生)	仰木 明 3 口	(高校 47 回生)		
中村佳世子 1 口	沢野 圭子 3 口	石川 陽一 3 口	佐藤貴美子 1 口	森 一之 1 口		
隅屋 郁 3 口	臨光 哲也 3 口	小谷野誠司 2 口	(高校 28 回生)			
(高校 5 回生)	押阪アヤ子 8 口	渡辺 雅広 3 口	福島 昭子 2 口			
野沢 ユキ 1 口	清水 宏之 3 口	矢内久美子 1 口	(高校 29 回生)			
村上 悅子 3 口	岩井 浩子 3 口	神内 净子 3 口	野村 達也 1 口			
佐藤美恵子 3 口	宮武 信子 3 口	(高校 19 回生)	山岡 伸雄 3 口			
山田 節子 1 口	谷口知栄子 3 口	中里 幸子 2 口	(高校 31 回生)			
鹿毛茉美子 3 口	(高校 12 回生)	川勝 文雄 3 口	山崎 洋 3 口			
長谷川具慶 5 口	鈴木 節子 1 口	三田美代子 3 口				



編集記

昨年は、会報を年 2 回発行することが出来ましたが、今年は 1 回になりそうです。発送費だけでも 200 万円前後かかるのがネックとなっています。近い将来、全員がパソコンネットワークを使える

ようになればその分だけ新たな会員サービスが出来ると思うのですが。とりあえず、今年は井草会のホームページを作りたいので、パソコンが得意な井草会の方、会報委員会まで連絡下さい。

名方記

